



ながいあいだ つづいていることに こたえを あたえる ひと

ローマ
16章 25節

わたし ^{ふくいん} 私の福音とイエス・キリストの ^{せんきょう} 宣教によって、すなわち、世々にわたって ^{なが} 長い間 ^{あいだ} 隠されていたが、

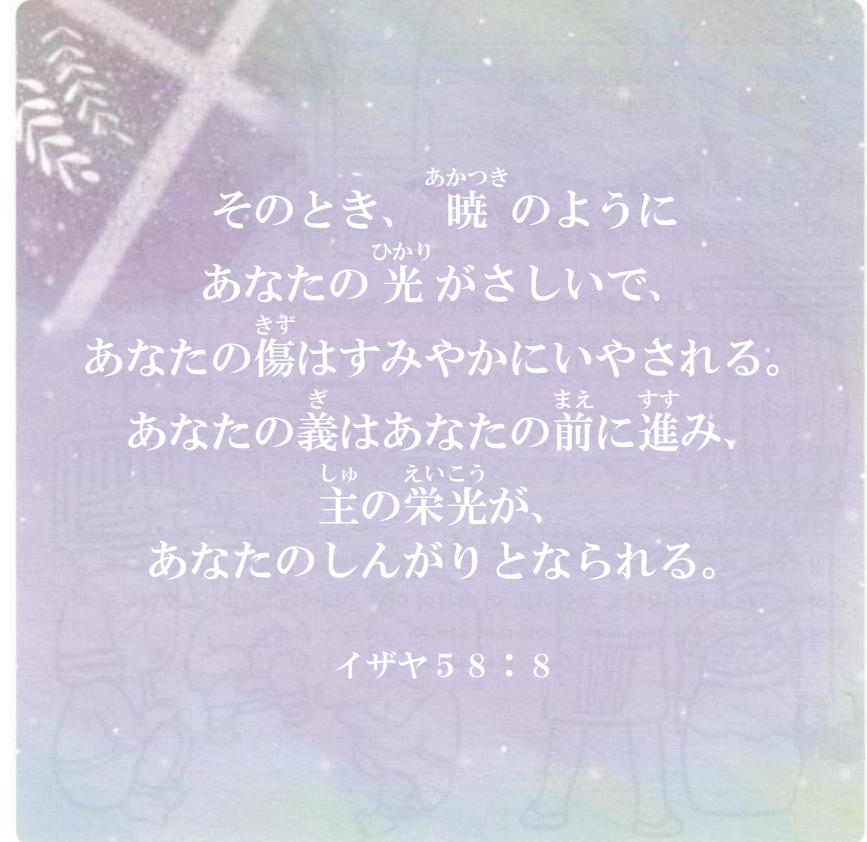
私たちは病気の ^{ひと} 人や、外国からきた ^{ひと} 人に会うことがあります。また、^{せんきょう} 宣教先の ^{げんち} 現地に ^す 住んでいる ^{ひと} 人や、北朝鮮からきた ^{ひと} 人に会うこともあるでしょう。^{かみさま} 神様は、^{わたし} 私たちを ^{でんどうしや} 伝道者として呼ばれたので、^{でんどうしや} 伝道者として、^{ほかに} しなければならない ^{こと} があります。なにからしなければなら ^{ない} のでしょうか。

それは、^{なが} 長い間 ^{あいだ} 続いている ^{もんだい} 問題に ^{こた} 答えを ^{あた} 与える ^{こと} です。^{だいぶん} 大部分の ^{ひと} 人が、^{むずか} 難しい ^{せいかつ} 生活を送って ^{きて} きて、^{れいてき} 霊的問題が ^{たまり} 積もっている ^{から} からです。そして、^{なが} 長い間 ^{あいだ} 続いている ^{さたん} サタンの ^{ぶんか} 文化に ^{とら} 捕らわれている ^{ため} ためです。それゆえ、^{わたし} 私たちは ^{ここに} ここに ^{こた} 答えを ^{あた} 与える ^{べき} べき ^な なのです。その ^{こた} 答えは、^{ただ} ただ ^{イエス} イエス・キリスト ^{だけ} だけです。^{わたし} 私たちが ^{この} この ^{こた} 答えを ^{つた} 伝える ^{とき} とき、^よ 世の中が ^{あた} 与える ^{こと} ことができ ^{ない} ない ^{へいあん} 平安と ^{とも} ともに、^{その} その ^{ひと} 人の ^{たま} たましいが ^い 生き ^さ される ^で でしょう。

^{かいつ} だれも ^{解決} 解決 ^{でき} できない、^{なが} 長い間 ^{あいだ} 続いている ^{もんだい} 問題を ^{かい} 解決 ^{する} することの ^{しやうにん} 証人 ^に になり ^ま しまし ^よ う。^{かみさま} 神様の ^{まへ} 前で、^{この} この ^{けつだん} 決断 ^{する} 者に、^{ちえ} 知恵と ^{ちから} 力が ^{あた} 与え ^ら れる ^で しょう。



ただ ^{かみさま} 神様の ^{ちから} 力 ^{によ} によって ^{だけ} だけ、^{すべての} すべての ^{もんだい} 問題は ^{かい} 解決 ^{しま} します。
^{つぎ} 次の ^{せいご} 聖句 ^を を ^な なぞ ^{って} 書いて、^{いや} いや ^{しの} しの ^{ちから} 力を ^う 受け ^ま しまし ^よ う。



イザヤ58：8



Blank lines for writing the scripture.



^{かみさま} 神様、^{なが} 長い間 ^{あいだ} 続いている ^{れいてき} 霊的問題は、^{ただ} ただ ^{イエス} イエス・キリスト ^{によ} によって ^{だけ} だけ、^{かい} 解決 ^{する} ことができ ^る る ^{しん} 信 ^じ じます。^{ふくいん} 福音 ^{によ} によって ^{すべての} すべての ^{ひと} 人を ^い 生 ^か ず ^す ことができ ^{ます} ます ^{よう} ように、^{生きて} 生きて ^お お ^ら れる ^{イエス} イエス・キリスト ^の の ^な 名前 ^{によ} によって ^お お ^{いの} 祈 ^り します。アーメン



Blank lines for writing the scripture.

あ ^{ひと} 会 ^う 人

Blank lines for writing the preparation material.

じゆんび ^{しりょう} 準備 ^{する} 資料

いちばん はじめに じゅんびする こと

ローマ
16章 27節

知恵に富む唯一の神に、イエス・キリストによって、御栄えがとこしえまでありますように。アーメン。

神の子どもが、いちばんはじめに準備すべきことは、なんでしょうか。それは、無能をいやすことができる準備です。これからやってくる、わざわいの時代に勝つことができる奥義だからです。そのために、霊的サミットになるべきです。

福音を持っている神の子どもならば、だれでも霊的サミットになることができます。そして、霊的サミットになれば、今日のできないことに執着することもなく、未来の心配と不安からも解放されます。神様のみことばを通して、すべてを見ることができるからです。レムナントのヨセフは、この答えを受けた人でした。奴隷として売られたのですが、兄たちが知らなかった神様の契約を心に抱いて、そのビジョンに向かって祈りながら挑戦しました。また、パロ王の夢を解釈して、答えを与えることができるくらいに霊的サミットの座にいました。

このように、霊的サミットの答えを受ければ、技能サミットの答えはついてくるようになります。これを再創造と言います。ダビデは幼かったのですが、サミットの座にいました。ですから、戦わずに勝利する文化サミットの答えも味わいました。この祝福がすでに私たちに来いています。今日から、この契約を握って、霊的サミット、技能サミット、文化サミットに祈りで挑戦しましょう。

きょうのみことば

きょうのいのり

神様、これからくるわざわいの時代に、すべての無能をいやされる力を与えてください。また、霊的サミット、技能サミット、文化サミットの祝福を与えてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



いろをぬろう

奴隷になったり、監獄に行ったりしたヨセフは、霊的サミットになって、戦うことなく、総理の祝福を味わいました。下の絵に色を塗って、私たちもその答えに挑戦しましょう。



きょうのでんどう

会う人

準備する資料

Blank space for writing, with a small red triangle icon at the top left of the section.

みことばを つたえる もの

ローマ

16章 21～23節

私の同労者テモテが、あなたがたによろしくと書いています。また私の同国人ルキオとヤソンとツシパテロがよろしくと書いています。この手紙を筆記した私、テルテオも、主にあってあなたがたにごあいさつ申し上げます。私と全教会との家主であるガイオも、あなたがたによろしくと書いています。市の収入役であるエラストと兄弟クワルトもよろしくと書いています。

パパやママの時代には手紙でやりとりしたのですが、いまはメールやメッセージ、SNSなど、オンラインで疎通して、自分の考えを述べる人が多いです。それによって、以前は接することができなかった文化や人々との関係を結ぶようになりました。人々との疎通も重要ですが、本当に重要なのは、神様のみことばで通じることです。聖書は、神様の感動を受けた人々が記録したものです。そのうち、テルテオはパウロの代わりに、ローマ人への手紙を筆記しました。神様のみことばとして、ローマ教会の人々と疎通ができるように記録したのです。神様は、このみことばで私たちと疎通して、最も重要なことを知らせてくださっています。ですから、このみことばを私のみことばとして整理して、さらに、他の国の言葉に通訳したり翻訳したりするということは、全世界にみことばを伝える重要な役割となるでしょう。

宗教改革者ルターは、聖書をドイツ語で翻訳する重要な役割を果たしました。大きなことをする以前に、私が聞いたみことばを記録して整理して、フォーラムして分かち合うとき、神様は私たちが思っているよりも大きく答えてくださり、いのちを生かす答えをくださいます。それがテルテオのようなみことばを伝える者が受ける祝福です。

きょうのみことば

きょうのいのり

神様、私を受けたみことばを伝えて、フォーラムするとき、いのちが生かされる答えが与えられる体験をすることができるように、私がまず、みことばで神様と疎通する者になりますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



さんびしよう

神様のみことばがある賛美を歌って、まず私がみことばを黙想しましょう。

讃美歌 501

生命のみことば

235

「あなたの御せを味えよわたしの口に喜びも甘いとぞいよ」
(詩 119:103-105)

P. P. Bliss, 1874

WONDERFUL WORDS: 8.6.8.6.6.6.
P. P. Bliss, 1874

1. いのちのみことばたえにくすわし
2. 主の任のみことばいとすわし
3. うれしきおとずれたえずきこえ

見えざるみかみのむねをしめし
あまねくひびきて世のちまたに
ゆるしとやわらぎたまうかみに

つかえまつるみちを—おしう
なやむ—子を—あめに—まねくる
ふかき—めぐを—あに—らわ

おりかえし
いのちのみことばたえなるかな—

いのちのみことばくすしかな—アーメン

きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料

レムナントの かくされた りよてい



契約の旅程に出発したパウロがいます。
パウロの旅程に従って、めいろを通りましょう。

使徒 9章 15節

しかし、主はこう言われた。「行きなさい。あの人はわたしの名を、異邦人、王たち、イスラエルの子孫の前に運ぶ、わたしの選びの器です。」

聖書のレムナント7人（ヨセフ、モーセ、サムエル、ダビデ、エリシャ、イザヤ、パウロ）は、神様から最も多くの答えを受けました。また、最も多くの人を助けて立てました。反対に、最も多くの苦しみを受けてたりもしました。どのようにすれば、聖書のレムナント7人のように、苦しみの中でも神様の隠された答えを見つけることができるのでしょうか。

神様は礼拝という霊的システムをくださいました。礼拝を通して神様の成就する契約のみことばが流れるようにされたのです。ですから、レムナントは、礼拝にある隠された祝福を回復して味わいながら、みことばの流れに入らなければなりません。また、神様は、苦しみの中にいたレムナントを立てて、ひとりを生かすところから、ひとつの家庭を越えて、そして世界までも生かす証人になるようにされました。レムナントが伝道の隠れた祝福を味わえば、同じように、現場の流れを変えることができます。

神様の契約には、隠された旅程があります。神様の契約には、私を生かして教会を生かしながら、現場を生かす旅程があります。聖書のレムナント7人のように、契約の旅程の中にあるならば、どんなに難しい状況と失敗の中にも、神様が隠された祝福の主役になるようにしてくださいませ。

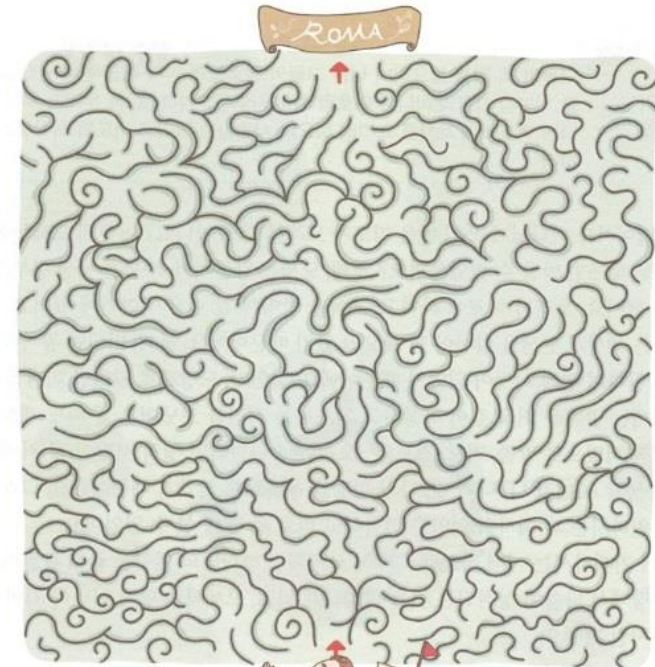


きょうのみことば



きょうのいのり

神様、私たちに救いをくださってありがとうございます。契約を伝える旅程の中にあることができますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



きょうのでんどう

あ ひと 会う人

じゆんび 準備する資料

モーセの しんこう てんけん

しゅつ 出エジプト しょう 18章 せつ 18節

かれらはあなたの声に聞き従おう。あなたはイスラエルの長老たちといっしょにエジプトの王のところに行き、彼に『ヘブル人の神、主が私たちとお会いになりました。どうか今、私たちに荒野へ三日の道のりの旅をさせ、私たちの神、主にいけにえをささげさせてください』と言え。

老人になっても神様に用いられた指導者モーセを知っていますか。どうして80歳になったモーセを、神様は用いられたのでしょうか。1つ目、モーセは王宮で40年間、世の中の勉強、人生の勉強をしました。私たちが学校に通って教育を受けなければならない理由がここにあります。世の中が語る世の中と人生について知る必要があるからです。2つ目、ミデヤンの荒野で40年間生活しながら、霊的サミットになったからです。殺人者、逃亡者としてたどり着いたミデヤンの荒野で、モーセはみことばをより一層深く黙想して、祈る時間を過ごしました。私達も世の中を生かす霊的サミットとして、みことば、祈り、伝道の3つの今日に勝利すれば、霊的サミットになるでしょう。3つ目、40年間の荒野生活で私、私のこと、私の現場を正しく見つけたからです。それゆえ、神様の願いである血のいけにえの契約を伝えてパロ王の前に立つことができました。

神様が喜ばれる礼拝システムの中で、モーセのように、神様の契約を堅く握りましょう。そうすれば、現場でみことばが成就するのを確認するようになって、モーセのように霊的サミットになって現場を変化させるでしょう。



きょうのみことば

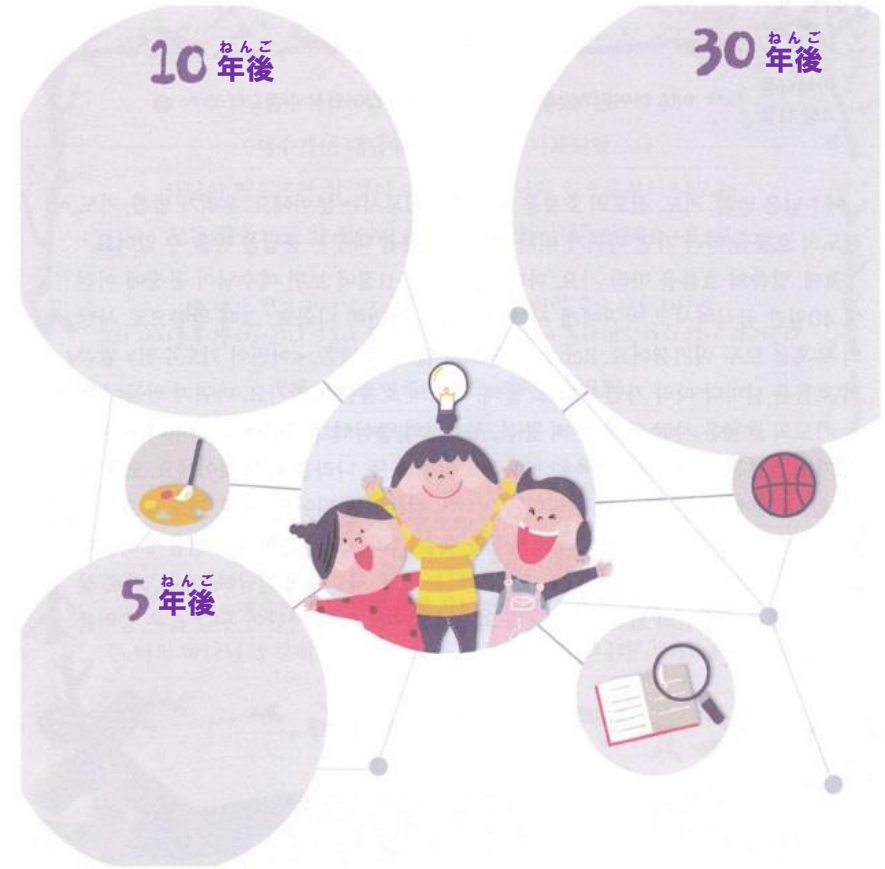
きょうのいのり

父なる神様！モーセのように、この世の学問を準備して、霊的サミットの準備、契約の体験をするように導いてください。そして、私の信仰を点検して挑戦するレムナントになりますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン
インマヌエル聖日1部 | 2017.12.10



ちよっと
きゅうけい

きょうの礼拝システムを味わう私の未来は、どのような姿でしょうか。時間の流れにそって、あいているところに絵をかきましょう。



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
しりょう
準備する資料

ながれを かえる キリスト

マタイ
4章11節

すると悪魔はイエスを離れて行き、見よ、御使いたちが近づいて来て仕えた。

イエス様は、みことば、祈り、伝道の流れを変えて、成し遂げられる方です。私たちがみことば、祈り、伝道の流れについて行けば、悪魔が離れるような流れを変える答えを受けることができます。

1つ目、みことばの流れについて行きましょう。マタイ4章1～11節を見れば、イエス様が公生涯をはじめられる前に、40日間断食をされて、悪魔の試みを受ける場面が出てきます。そのとき、みことばでサタンの誘惑にすべて勝たれました。レムナントも、聖日の講壇のみことば、子どもの祈りの手帳のみことばの流れに毎日ついていけば良いのです。2つ目、祈りの流れについて行きましょう。悪魔がつくった祈りの流れは、人間中心、神秘中心、社会正義中心です。しかし、イエス様の祈りの流れは、主の祈り（マタイ6:1～10）のように、神様のみこころ、御国のためのものです。すべての事件、できごと、問題をおいて、神様にそのみこころと計画について質問すればよいのです。3つ目、伝道の流れについて行きましょう。神様は世の中の人々に、神様の愛とイエス・キリストの恵みによって、救いをお与えになりました。（エペソ2:4～9） 私たちも、この救いの知らせを、出会うすべての人に伝える伝道者として生きましょう。このように、イエス様のみことば、祈り、伝道の流れについていけば、サタンがひざまずく勝利をするようになるでしょう。

きょうのみことば

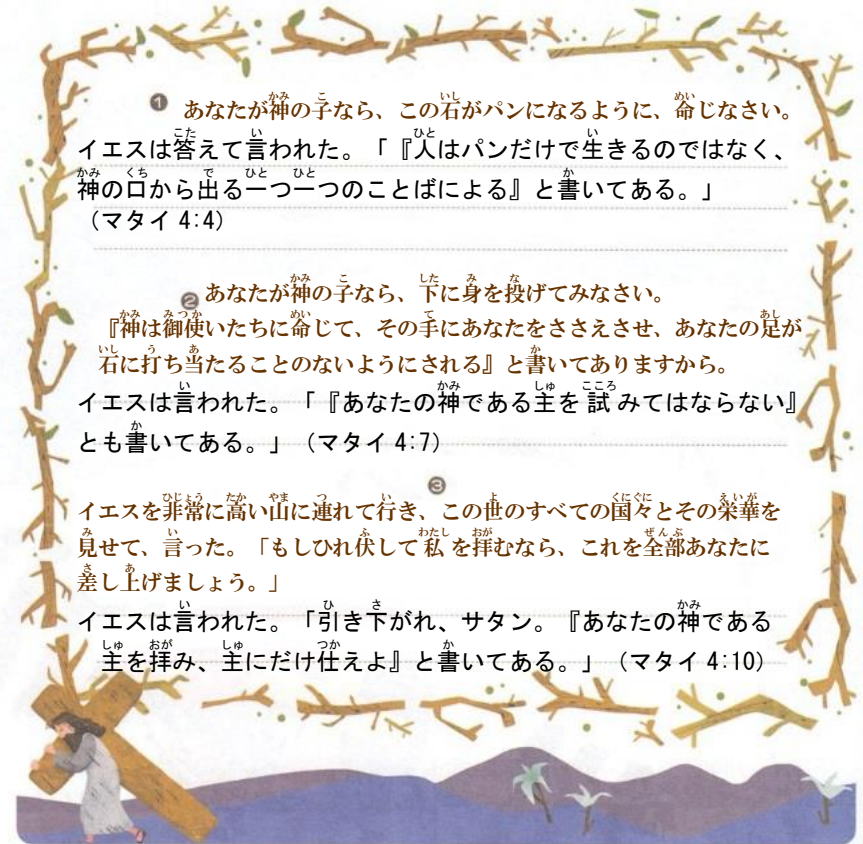
きょうのいのり

神様、この世の流れを変えるレムナントとして呼んでくださって、ありがとうございます。イエス様のように、みことば、祈り、伝道の流れによって、この世を生きやすように導いてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



みことばを
てきようしよう

サタンは私をなにで誘惑しているのでしょうか。私には、どんなサタンの誘惑があるのかを考えてみましょう。サタンの誘惑にみことばで勝たれたイエス様の告白を見つけて、書いて、心から告白しましょう。



① あなたが神の子なら、この石がパンになるように、命じなさい。

イエスは答えて言われた。「『人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出る一つ一つのことばによる』と書いてある。」（マタイ4:4）

② あなたが神の子なら、下に身を投げてみなさい。

『神は御使いたちに命じて、その手にあなたをささえさせ、あなたの足が石に打ち当たることのないようにされる』と書いてありますから。イエスは言われた。「『あなたの神である主を試みてはならない』とも書いてある。」（マタイ4:7）

③ イエスを非常に高い山に連れて行き、この世のすべての国々とその栄華を見せて、言った。「もしひれ伏して私を拜むなら、これを全部あなたに差し上げましょう。」

イエスは言われた。「引き下がれ、サタン。『あなたの神である主を拜み、主にだけ仕えよ』と書いてある。」（マタイ4:10）

きょうのでんどう

あひと
会う人じゆんび
準備する資料

<p>きょうのでんどう</p>	<p>準備する資料</p>
-----------------	---------------